



進路支援について～卒後指導より～

進路支援部特別支援教育コーディネーター 日光 俊介

保護者の皆様には、日々の教育活動並びに進路指導への御理解と御協力に心より感謝申し上げます。

進路支援部の業務は在学中の支援のみではなく、卒業後支援（卒後指導）というものがあります。卒後指導は卒業後3年間を基本に卒業生が利用する事業所を訪問し、利用の状況を把握したり、支援の共通理解を図ったりすることで卒業後の施設利用がより充実したものになるよう取り組んでいます。

そこで、これまで事業所を訪問して職員から聞いた印象に残っている言葉をいくつか挙げてみます。

- ・「自分の思いをしっかりと伝えてくれるので助かっています」
→笑顔や涙、表情、視線、言葉、サイン、スイッチなど、それぞれの手段で思いを伝えていきます。
- ・「どの職員とも食事が食べられるようになってとてもよかった」
→最初は限定された職員でした。
- ・「しっかり寝て、しっかり食べて、快便なことが生活していく上での基本なので、安定していることにとても安心しています」
→施設に入所して生活しています。
- ・「体調が安定して、休みなく通っています。日中も眠らずに活動に参加できるようになりました」
→睡眠リズムが不規則で休みがちで、通所しても眠ってしまって活動への参加が難しい日がありました。
- ・「自分のやりたいことをやっているときに、役割をお願いするとすぐにやってくれるのでありがたい」
→気持ちを切り替えられることは大切です。

卒後指導を通して、学習活動を考えてといずれも「本校で育てたい生きる力」の5要素と密接な関わりがあり、卒業後に向けて必要な力は家庭や学校、地域でそれぞれのライフステージに応じた日常の生活を通して身に付けていくものではないかと感じているところです。（下図：本校で育てたい生きる力）



決める



見る、聞く、感じ



伝える



つながる



やる気・元

さて、「進路」というと日中活動の場や生活の場を探すというイメージをもちますが、他の福祉や医療のサービスを利用した卒業後の生活の組み立て自体を考えることが重要です。

卒業生が利用しているサービスを挙げてみると、生活介護、就労継続支援B型、短期入所、施設入所、療養介護、居宅介護、重度訪問介護、移動支援、訪問看護、訪問入浴、訪問リハビリなど、それぞれがニーズや必要に応じていろいろなサービスを利用して生活を送っています。

学校の進路指導は、日中活動の場や生活の場など見学、実習を通して選択、決定していくことにとどまり、その他のサービス利用や生活に関わる相談については関係機関が中心となるため連携が不可欠になります。また、在学中は相談に応じられた内容も卒業後は関係機関に引き継いでいくことになります。

卒業後の生活を考えていく上で重要なのが計画相談、相談支援事業所(相談室)で在学中に関わりを持つことです。今後の進路指導は、早期から関係機関とのネットワークづくりを大切に、本人・保護者の皆様の個々のニーズに対して適切な情報提供や進路支援を行うことができるよう連携を図りながら進めてまいりたいと考えております。引き続き保護者の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

※卒業指導は、北海道教育委員会からの予算はなく、躍動の会(本校高等部卒業生の会)に御理解、御協力をいただいております。

防災について知ろう～寄宿舍～



9月1日の「防災の日」に向けて、寄宿舍では8月28日(水)に防災について考え、災害時の模擬体験をする「防災について知ろう」を、下校後と夕食時の時間を使って実施しました。下校後の時間では、「防災の日」の意味や9月1日に設定された理由などの説明をしたあと、寄宿舍では災害に備えてどのような取り組みや準備をしているのかを確認して自然災害に備えることの大切さを学びました。その後は、防災における一般的なものから寄宿舍に関する内容も織り交ぜられた『寄宿舍防災クイズ』をしました。それぞれ1～3の番号が書かれた回答札を持ち、真剣な表情でクイズを聞き、正解が発表されると歓声があがって大盛り上がり！舎生も職員も楽しみながら防災についての知識を深めることができました。この時間の最後には、防災についての意識を高めた証として修了証も配付しました。

夕食の時間では、地震や火事などの災害によって停電になった事態を想定し、寄宿舍内の照明を消してランタンの明かりのみで食事をするという体験を行いました。薄暗い中での食事はいつもと雰囲気の違い、少し緊張していた舎生もいましたが、すぐに環境に慣れ、みんな落ち着いて食事をすることができました。

どちらも短い時間ではありましたが、舎生、職員ともに防災について考え、学び、体験できた貴重な時間となりました。

(寄宿舍 伊藤 翼)

ICT機器の紹介

本校で活用している支援機器について写真と主な活用方法について紹介させていただきます。

【 iPad 】



ネット検索やアプリをインストールして学習やコミュニケーションツールとして活用しています。

【 MaBee 】



単三乾電池で動く製品をスマホやタブレットのアプリでコントロールして動かすことができます。Scratchでプログラミングして動かしたりすることもできます。

【 ジョイスティックマウス 】



指先だけで操作して動かすことのできるマウスです。スティック部分でカーソルを操作して、小さなボタンでクリックなどの操作ができます。

【 AMAneoBTi 】



iPad や iPhone などに Bluetooth でマウスを接続させます。また、スイッチを接続させてクリックの役割をさせることもできます。

【視線入力装置 PCEye Mini】



目の動きをマウスのように活用してパソコンを操作することができます。EyeMot やハーティリーダー、LookToLearn などのソフトでゲームをしたり、Tobii Communicator というソフトを活用して意思伝達手段として活用したりすることもできます。

《 無料アプリの紹介 》

本校の児童生徒たちが普段使っているものや、他の学校や研修会などで紹介されているアプリを一部ですが紹介させていただきます。

【ゆびつむぎ】



【Drop Tap】



【コバリテ・コミュニケーション】



【ごっこランド】



【えこみゅ】



【Tiny Piano】



【レジスタディ】



【タップ花火】



(情報教育推進部 杉本 崇)

10月行事予定

	行 事
1 火	
2 水	高3)見学旅行～4日 学習発表会総練習
3 木	中3)学校間交流(澄川中)
4 金	自立活動相談⑯
5 土	学習発表会(14:05下校)
6 日	
7 月	振替休業日(冬季休業日より⑳)
8 火	中1)二計測
9 水	中2)二計測①
10 木	小)わくわく 中2)二計測②
11 金	中3)二計測 自立活動相談⑰
12 土	
13 日	
14 月	スポーツの日
15 火	
16 水	高2)宿泊研修～17日 小1)学校間交流(澄川西小)
17 木	小)わくわく
18 金	自立活動相談⑱
19 土	
20 日	
21 月	振替休業日(10/26分)
22 火	小高)教育実習(～11/7) 高1)二計測
23 水	中)文化祭総練習 高2)二計測
24 木	小6)校外学習 高3)二計測
25 金	自立活動相談⑲
26 土	文化祭(14:05下校) 防災学校見学会
27 日	北海道特別支援教育振興大会 北海道特別支援教育関係PTA 研究大会合同大会(札幌)
28 月	振替休業日(冬季休業日より㉑)
29 火	防犯教育週間(～11/8)
30 水	
31 木	

『令和6年度 中学部文化祭』の お知らせ

下記の日程で中学部文化祭を開催します。今年度は来校される方や人数の制限はありません。日常の学習活動の成果を様々な形で発表します。生徒達の活躍を多くの方にご覧いただきたいと思います。中学部保護者の皆様は、後日案内プリント、プログラムを配付しますので詳細を御確認ください。また、プログラムは学校ホームページにも掲載します。

時 間	内 容 / 場 所
10:00～10:20	オープニング／体育館
10:20～	移動・準備
10:30～11:20	各学年企画／ 体育館・各学年教室
11:25～11:30	エンディング／ 体育館・各学年教室

★給食はあります。下校は14:05です。

★10/21(月)振替休業日(10/26分)

★10/28(月)振替休業日(冬季休業日より)

(中学部主事 三浦 綾)

